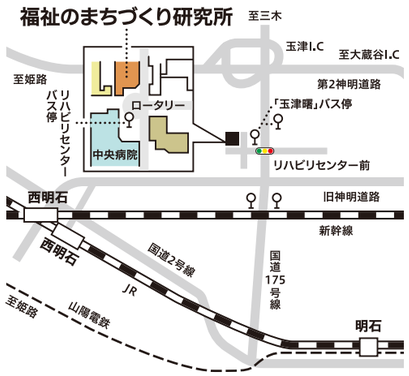
兵庫県立福祉のまちづくり研究所

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
（総合リハビリテーションセンター内）
TEL：078-925-9283　FAX：078-925-9284
URL：https://www.assistech.hwc.or.jp/
E-mail：info00@assistech.hwc.or.jp

ACCESS



－JR明石駅、山陽電車 山陽明石駅から
・神姫バス（約15分）「県立リハビリセンター」下車すぐ
　または「玉津曙」下車徒歩5分
・タクシー（約10分）

－JR西明石駅から
・神姫バス（約20分）「県立リハビリセンター」下車すぐ
・タクシー（約5分）
　※バスの時刻・乗り場等の詳細は
　神姫バスのホームページ等でご確認ください。

兵庫県立福祉のまちづくり研究所は
社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団が運営しております

発行：令和8年9月

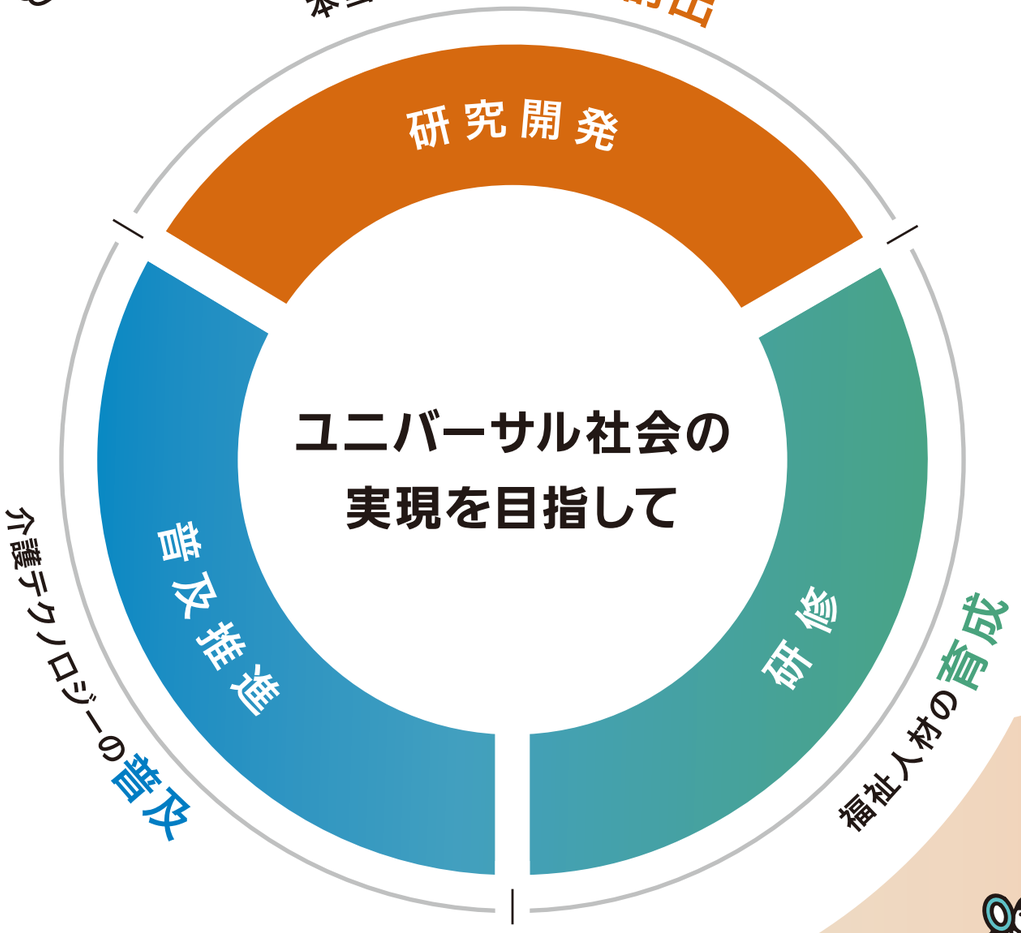
兵庫県立
福祉のまちづくり研究所

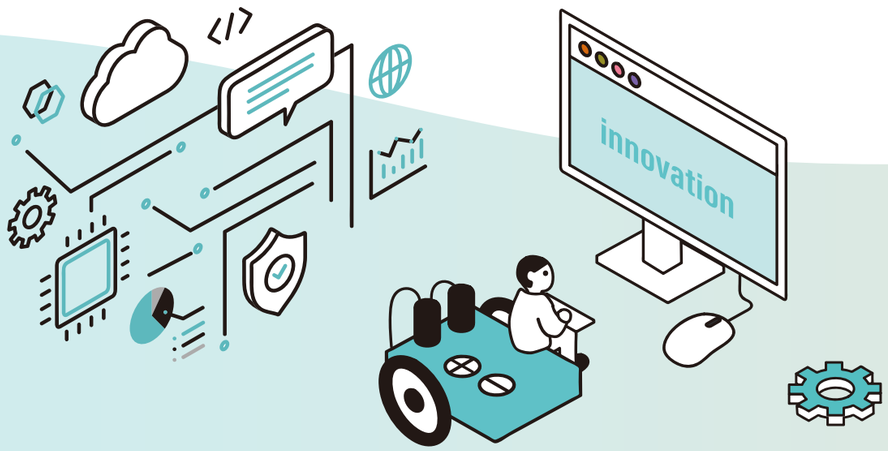
ユニバーサル社会の実現を目指して

The Hyogo Institute of Assistive Technology

人ファーストと
イノベーションで
未来を築く

「すべての人々にやさしい福祉のまちづくりをめざして、研究開発を推進し、
その成果を広く情報発信する」ことを理念として掲げ、
「本当に役立つもの」を届けるための取り組みを行っています。



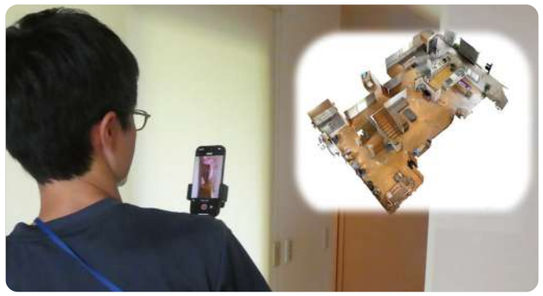


「福祉のまちづくり研究所」では、病院や福祉施設に隣接する立地環境を活かし、現場ニーズに
基づいたさまざまな事業に取り組んでいます。すべての人が地域社会の一員として尊重され、
互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮できる社会の実現へつなげていきます。

The Hyogo Institute of Assistive Technology

研究開発

AIやモーションパラメータなどの先端技術を活用し、
医療現場（病院）や介護・福祉現場（福祉施設）と連携した
研究開発に取り組んでいます。
障害のある方や高齢の方、そして支援者の方々の声を反映させながら、
生活支援や介護予防に役立つ機器・システムの構築を目指します。
また、研究成果の実用化や社会実装に向けて、
企業や関連団体との連携を推進しています。



主要プロジェクト

車椅子使用者のための経路検索アプリ「なび坂」

自走式車椅子をこぐ力や電動車椅子の機種に応じて経路上の坂道の難易度（きつさ）を3色で表示する経路検索アプリです。不慣れな土地での移動や初めて訪れる観光地を無理なく回るためのルート確認などに活用できます。

フレイル評価椅子

非常に簡単に一人で短時間にフレイルリスク（身体的虚弱）状態に陥っているか否かを評価できる椅子です。この椅子に座ると自動的に計測が始まり、立ち上がると計測が終了します。結果は、背もたれの画面に表示されます。

大型タッチモニターを用いた認知機能評価ゲーム

大型タッチモニターに表示された数字やひらがなを順番に探してタッチし、その際の手の動きから認知機能を評価するシステムです。所要時間や手の動きの滑らかさなどを計測し、身体を動かしながら楽しく取り組める認知機能評価の実現を目指しています。

テクニカルエイドサービス

福祉用具は、使う人や使用する環境に応じて適切に適合させることが大切です。福祉のまちづくり研究所では、福祉用具展示ホールの展示品や専門的な計測装置等を用いて、使いやすい福祉用具の適合を支援するテクニカルエイドサービスを実施しています。

補装具製作

主に子どもの筋電義手の製作・適合を行っています。隣接する中央病院の医師や作業療法士などと連携し、成長段階や生活場面に応じた調整・支援を行っています。

※筋電義手とは、筋肉が収縮する際に発生する微弱な電流を利用して動かすことができる電動の義手です

小児筋電義手バンク

小児筋電義手バンクは、子ども用の筋電義手の普及を目的として設立されました。多くの皆さまから温かなご厚意をいただいており、筋電義手を必要とするお子様への訓練用義手の無償貸出しや小児筋電義手の訓練を行う人材の育成などに活用しています。

発声障害者のための読唇術AI

喉頭摘出や気管切開などにより、音声・言語機能に障害のある方を支援するため、カメラを用いた独自のAI技術の研究を行っています。これまでの意思伝達装置とは異なり、特別なセンサーの装着又は第三者の介入が必要ありません。カメラによる口元の映像から唇の微細な動きを正確に捉え、蓄積されたデータをもとにAIが瞬時に解析し、声を出さなくても、発話しようとしている言葉をタブレットやモニターなどに表示する仕組みです。

介護テクノロジーの普及推進

福祉のまちづくり研究所では、
平成25年度から介護ロボットの開発・
導入支援事業を開始し、
福祉用具・介護テクノロジーの情報発信、
企業への開発支援、介護現場等における
導入支援を実施しています。

▶▶▶ 開発企業の方へ

介護テクノロジー等の開発支援
（ひょうご介護ロボット開発支援窓口）

福祉機器や介護テクノロジー機器の開発に関する相談対応や情報提供、アドバイス支援を実施しています。また、「次世代型住モデル空間」を活用し、開発段階の試作機から完成機器までの実証評価を行い、実用化に向けた取組を支援しています。

▶▶▶ 介護施設の方へ

介護テクノロジー等の導入支援
（生産性向上支援）

介護の質や業務効率向上のため、施設からの相談、最先端の機器や制度の情報提供、介護テクノロジーを効果的に活用するための導入支援研修を実施しています。また、施設課題から導入機器の選定、使用・運用方法まで、きめ細かい伴走型コンサルテーション支援を実施しています。

▶▶▶ すべての方へ

福祉用具・介護テクノロジーの情報発信

「福祉用具展示ホール」には約630点の福祉用具・介護テクノロジーを展示しています。「見て・触って・体験する」をテーマに、実機体験はもちろん、心身機能・住環境に適した福祉用具の選定や住宅改修等に関するご相談を承っています。

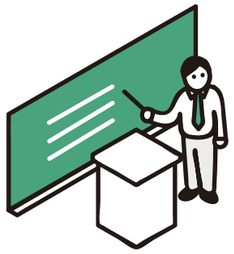
Pick Up!

ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センター
（介護テクノロジー導入・生産性向上支援推進総合事業）

介護現場の生産性向上に関する課題解決のため、最先端の介護テクノロジー導入をはじめとした総合的な支援を行い、介護の質の向上・働きたい職場づくりのトータルサポートを実施しています。

福祉人材を育成する研修

誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる
まちづくりの一環として、専門的人材の育成を目的に
様々な研修を実施しています。
認知症介護実践者等養成事業、相談支援従事者研修及び
サービス管理責任者等研修実施事業といった法定研修以外
にも、介護者、利用者双方の安全、安心を目的とした、
介護職員人材の育成に関する研修も実施しています。



相談支援従事者研修
サービス管理責任者等研修
実施事業

- 利用者サービスの質の向上
- 多様なサービスの総合的、適切な利用の援助
- 相談支援技術のスキルアップ
- 相談支援体制の構築
- 推進を目指した人材育成　etc

住み慣れた
地域での暮らし

介護職員人材育成
に関する研修

- 安定したポジショニング
- 福祉用具の活用
- ノーリフティング・ケア
（持ち上げない、抱えあげない）
- 褥瘡予防（利用者）、
腰痛予防（介護者）　etc

認知症介護
実践者等養成事業

- 利用者本位の介護、生活の質の向上
- 行動・心理症状を予防できる
チームケア
- 認知症の理解
- 地域での認知症施策の推進を担う
人材育成　etc